

2025.10.30

北海道通信

釧路新産業創造研究会

講演通じ知識深める

データセンター事業の可能性等



ついで学んでいきたい」と話し、講演が釧路地域における新産業創造のきっかけになることを期待した。

研究会では、㈱フワココミュニケーションズの柳川直隆代表取締役が「釧路における再エネデータセンター・国際光

【釧路発】サンエス電気通信㈱（釧路市）の宮田昌利社長が会長を務める釧路新産業創造研究会は28日、釧路市内のセンチュリーキャッスルホテルで第18回研究会を開催した。写真Ⅱ。宮田会長をはじめ約50人が参加。釧路地域におけるデータセンター事業の可能性などについて聴講した。

開催に先立ち、宮田会長は今回の講演テーマに触れ「地方でデータセンターをつくろうという動きは多くあるが、再生可能エネルギーのみで稼働するチャレンジングなデータセンターについて、これからの展開や、釧路における可能性に

海底ケーブルの可能性」と題して講演した。柳川社長は「近年のデジタル化に伴い、データセンターの需要が高まっている」と話し、事業ホテルとして来年4月に石狩市で開業予定の再生可能エネルギーデータセンターについて活用方法や事業スキームなどを説明。「産業の誘致が雇用の創出にも

つながる。釧路でもできるはず」と強調した。

また、国際光海底ケーブルについて、接続先や陸揚げ地の選定などソフト面、システム設計やルート選定、海中設備の製造から敷設までの動きなどハード面、システム完成後の運用保守など建設計画のポイントを紹介した。

続いて、北海道大学の山本強名誉教授が「道東視点

で見る北海道ハレー構想とワット・ビット連携」をテーマに講話。自身が代表を務める北海道ニューピアデータセンター研究会の設立経緯や活動内容を紹介したあと「近年、データセンターや半導体製造の観点から北海道に期待が高まっている」と話し、買い手を考えた事業方針などを解説した。

サンエス企業グループ代表 宮田昌利が会長を務める「釧路新産業創造研究会」の関係記事です

10月30日付の北海道建設新聞にも同様の記事が掲載されました